

# とちぎの心をお届けします

②

## 花き栽培

◆花き栽培面積 60 アール

◆従事年数 46年

私は20歳で就農し、少しの面積でも高い収入が得られるという思いから、花き栽培に取り組み、1年間篤

何になりたいですか」との問い合わせに、「そうだな、あの咲いた時のボリューム感と言葉には言い表せない、あの独特の花弁の美しさを持つユリの花かな」と答えが返るほど、花を愛している雲さん。そんな花に魅了される思いをお話しいただきました。

### 新しいものにチャレンジ

ユリ栽培で最大の特徴は、オランダ産の輸入球根を周年で利用し、周年栽培ができるということです。ま

農家で研修後独立し今日に至ります。よく皆さんに「花の魅力とは何ですか」と聞かれますが、まずは心を癒してくれること。そして、美しい花を見た場合何とも言えない気持ちになり、その美しさに吸い込まれてしまうことです。さらに自分の栽培した花が高く取引された時には、生産者としての満足感、優越感を味わえます。

### 美しい花で多くの人を癒したい

「もし、生まれ変わったとしたら何になりたいですか」との問い合わせに、「そうだな、あの咲いた時のボリューム感と言葉には言い表せない、

最後に、40数年間花を栽培してきましたが、「まだまだこれ以上の花を作りたい」という思いがあり、イメージが湧いてきます。頂点を極め

るまでは満足できませんし、「一人でも多くの人の心を癒したい」とい

う思いが続く限り、花と向き合い続けていきたいと思います。

雲 昭三さん (那須烏山市)

とちぎ農産物マーケティング協会 花き部会長



た、品種改良も毎年行われているため、私は毎年5月にオランダの展示会に出向き、新品種の中から日本に向くユリの花を追い求め、常に「新しいものにチャレンジ」を心がけています。

(とちぎ農産物マーケティング協会  
事業推進部主任・福田一史)

# 大地の恵みを产地から



平井 好さん (那須烏山市)

有限会社・平井生花店代表取締役会長  
栃木県生花商協同組合理事長  
社団法人・日本生花通信配達協会 (JFTD)  
花キューピット協同組合理事



国会においては「潤  
いと癒し、喜び、感動」  
ということで、花き振  
興法が制定されました。  
とても素晴らしいこと  
だと思いますか?

今後は、このような  
国の支援を活かして生  
産者、生花店、行政が  
連携し、お互いに知恵  
を出し合って、花き業  
界を盛り上げていきた  
いと思います。

## 生花商

◆ 営業年数 41年

◆ 2店舗経営(本社とベルモール店)従業員数 15名

私は、農家の長男として生まれ、  
子供の頃は稻作を中心に、約2haの  
農業経営でしたが、安定した収入を得  
るため、また花が好きだったので、  
花づくりを始めました。

ハウス面積500坪、露地菊50a  
で、菊栽培が中心でしたが、8年目  
で大雹被害を受け、花作りは全滅と  
なってしまい、花づくりを断念しま  
した。その後(当時27歳)鹿沼  
市内に6坪の生花店を開業し、これ  
まで約40年間運営してきました。

## 流通の多様化、『花産業』に思う

### 専門性を強化、努力の日々

全国の花キューピット正会員が、  
7~8年前は約50000店だったの  
に比べ、現在では35000店と減少  
傾向にあります。

花屋もそれぞれ専門性を強化し、  
7~8年前は約50000店だったの  
に比べ、現在では35000店と減少  
傾向にあります。

花屋も減少するばかりです。  
一方で生産者も大変だと思  
います。資材の高騰など、労働人員  
の高齢化、後継者不足も重なり、生  
産者も減少傾向にあると思います。  
今は、格差の時代ではないでしょ  
うか?

生産者においても、花屋において  
も、お互い情報を共有し、努力して、  
生き残れる業界でありたいと思いま  
す。